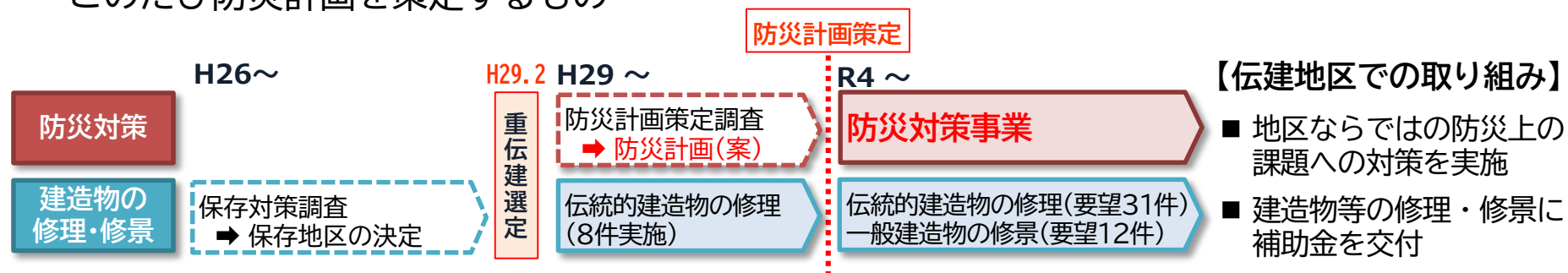


戸隠伝統的建造物群保存地区 防災計画(案)の決定について

教育委員会事務局 文化財課

防災計画の策定について

- ◆ 伝建制度の導入当初より、建造物等の修理・修景と並行して防災計画を早期に策定し、防災対策事業を計画的に実施することとしていた
- ◆ 重伝建選定後より文化庁の支援を受けて防災計画策定調査を実施しており、その成果を基にこのたび防災計画を策定するもの



○ 前回部長会議以降の経過と今後の予定

- R3.9.30 部長会議（防災計画の策定について承認）
- R3.10.11 伝統的建造物群保存地区保存審議会へ諮問
- R4.1 住民説明会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
↳ 説明資料を保存地区の全世帯へ配布し意見等を募集 ➔ 意見等なし
- R4.2.3 伝統的建造物群保存地区保存審議会より答申

- R4.2.22 **部長会議（防災計画(案)の承認）**
- R4.3.23 教育委員会にて計画決定
- R4.4~ 計画事業に着手



茅葺屋根の宿坊



住民による初期消火訓練



○ 計画の目的

文化財の保存と活用を図りつつ、保存地区に特有の防災上の課題への対策を計画的に実施するため、防災計画を策定する

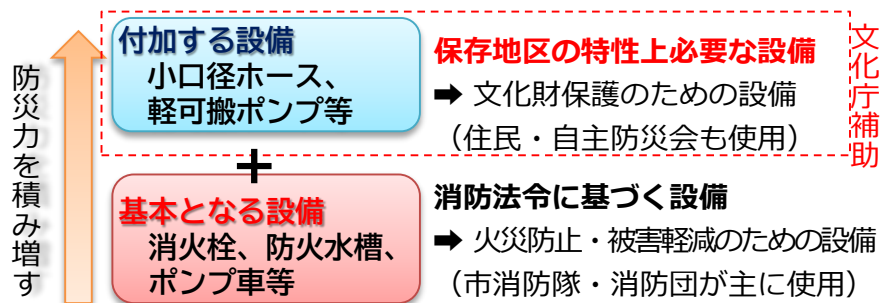
○ 計画期間

令和4(2022)年度～令和13(2031)年度

○ 保存地区の防災上の特性(課題)

- 飛び火による類焼の危険性が高い(茅葺の建物が多い)
- 近隣での火災の早期発見が難しい(隣家と離れている)
- 消防署による初期消火が難しい(近くに消防署がない)
- 伝統的建造物の耐震性に不安がある(壁が少ない)
- 積雪量が多く、寒冷地である(標高が高い)
- 不特定多数が利用する伝統的建造物が多い(宿泊施設、飲食店など)

○ 防災力向上のスキーム(例: 火災の場合)



防災計画の構成と事業フレーム（案）

防災計画の構成（章立て）

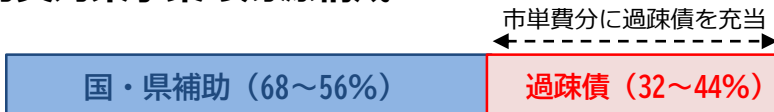
- 1 防災計画の目的**
計画策定の背景、計画策定の目的、計画の概要、関連する計画等
- 2 保存地区の概要**
町並み保存の経過、町並みの特性、保存地区周辺の災害履歴 など
- 3 防災計画の基本方針**
 - ① 個々の建造物等の防災性能の向上
 - ② 地区全体にかかわる防災施設の拡充
 - ③ 地域コミュニティの防災力の向上
- 4 防災対策事業の内容**
火災、地震、雪害、その他の災害などに関する課題と対策について、事業主体や実施目標時期（短～中長期）を整理
- 5 今後の課題**
効果的な防災対策事業の推進、建築基準法の緩和等

市が主体的に実施する事業（短期目標）

ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 住民向け防災マニュアル等の作成 建造物の構造補強指針の作成
ハード	<ul style="list-style-type: none"> 住民が扱いやすい消火設備の整備 延焼の危険が高い建物への消火設備の設置 消防水利不足箇所への耐震性貯水槽の整備 外部通報システムの整備 など

※ このほか、住民や地域が主体的に実施する防災訓練など防災に関する取り組みを継続的に支援

防災対策事業の財源構成



※ 過疎計画期間(~R8)に短期事業を実施し、歳出を抑制

防災対策事業の全体フレーム（案）

項目	課題	対策	ハード	ソフト	継続	短期	中・長期	世帯	地域	行政	その他	
1 防災全般	1-(a) 防災に対する理解の促進	1-(a)-① 住民向け防災マニュアルの作成 1-(a)-② 防災に関する勉強会の開催	●	●					○	○	○	
	1-(b) 災害に強いコミュニティづくり	1-(b)-① まちづくり活動の活性化 1-(b)-② インバウンドも想定した避難訓練の定例実施	●	●					○	○	○	
	1-(c) 効果的な防災訓練の実施	1-(c)-① 防災型防災訓練の定例実施 1-(c)-② 観光客への対応	●	●					○	○	○	
	1-(d) 観光客への対応	1-(d)-① 観光客の一時的避難場所・避難所の検討 1-(d)-② インバウンドも想定した避難誘導体制の検討	●	●					○	○	○	
	1-(e) 早期復旧・復興への取り組み	1-(e)-① 応急復旧資材の確保	1-(e)-① 応急復旧資材の確保	●	●					○	○	○
		1-(e)-② 修理用建材のストックヤード確保	1-(e)-② 修理用建材のストックヤード確保	●	●					○	○	○
		1-(e)-③ ハリテージマネージャーや職人等との連携強化	1-(e)-③ ハリテージマネージャーや職人等との連携強化	●	●					○	○	○
1-(e)-④ 修理履歴や図面の記録保存		1-(e)-④ 修理履歴や図面の記録保存	●	●					○	○	○	
1-(f) マンパワーの確保	1-(f)-① 希望者への支援	1-(f)-① 希望者への支援	●	●					○	○		
2 火災	2-(a) 出火予防	2-(a)-① 出火リスクの把握と低減、日常点検の徹底 2-(a)-② 老朽化した電気配線・設備の更新 2-(a)-③ 感震ブレーカーの設置 2-(a)-④ 不審火・失火の警戒	●	●					○	○	○	
	2-(b) 早期発見・早期通報	2-(b)-① 住宅用火災警報器の設置・管理の徹底	●	●					○	○	○	
		2-(b)-② 自動火災報知設備の設置・管理の徹底、機能強化 2-(b)-③ 炎センサーの設置	●	●						○	○	
	2-(c) 初期消火・延焼防止	2-(c)-① 街頭消火器等の配備	2-(c)-① 街頭消火器等の配備	●	●					○	○	
		2-(c)-② 住民が扱いやすい消火設備の配備 2-(c)-③ 延焼危険度が高い建物への消火設備の設置	2-(c)-② 住民が扱いやすい消火設備の配備 2-(c)-③ 延焼危険度が高い建物への消火設備の設置	●	●					○	○	
	2-(d) 施設での避難・誘導	2-(d)-① 冬季も考慮した避難経路の確保 2-(d)-② 不特定多数が利用する施設での避難誘導計画等の作成	●	●					○	○	○	
	2-(e) 消防活動	2-(e)-① 防火水槽の改修・更新 2-(e)-② 消火栓の改修・新設	2-(e)-① 防火水槽の改修・更新 2-(e)-② 消火栓の改修・新設	●	●					○	○	
		2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備	2-(e)-③ 消防水利不足箇所への防火水槽等の整備	●	●					○	○	
	3 地震	3-(a) 建物の耐震対策	3-(a)-① 劣化・破損の日常点検と初期補修の実施	●	●					○	○	○
			3-(a)-② 適切な雪下ろしの実施	●	●					○	○	○
3-(a)-③ 耐震診断の推進 3-(a)-④ 構造補強指針の作成 3-(a)-⑤ 建物の構造補強の推進			●	●						○	○	
3-(b) 工物物の耐震対策		3-(b)-① 石垣・石造物等の日常点検の実施	●	●					○	○	○	
		3-(b)-② 石垣・石造物等の耐震対策の推進 3-(b)-③ 地震時の危険性についての注意喚起	●	●						○	○	
4 雪害	4-(a) 建物の補強・改修	4-(a)-① 雪害剥離面の補強 4-(a)-② 雪溜まり箇所の塵朽対策	●	●					○	○		
	4-(b) 屋根積雪の抑制	4-(b)-① 適切な雪下ろしの実施（再掲） 4-(b)-② 効率的な屋根積雪の調査研究	●	●					○	○		
	4-(c) 排雪処理	4-(c)-① 適切な階層間隔の確保 4-(c)-② 共同排雪場所の確保	●	●					○	○		
5 その他災害	5-(a) 土砂災害対策	5-(a)-① 山の砂防事業等との連携	●	●					○	○		
		5-(a)-② 避難計画の立案・事前避難等の徹底 5-(a)-③ 伝統的建造物の移転等の位置の検討	●	●					○	○		
	5-(b) 倒木・落枝対策	5-(b)-① 樹木の日常点検・管理の実施	●	●					○	○		
		5-(b)-② 樹木区診断に基づく樹勢回復 5-(b)-③ 危険木の伐採 5-(b)-④ 無電柱化の推進	●	●						○	○	